

まちづくり交付金 事後評価シート
中心市街地地区

平成20年12月

宮崎県延岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県		市町村名	延岡市		地区名	中心市街地地区			面積	286ha
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	3436.6百万円	国費率	0.4		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> 道路(須崎中川原線「須崎橋」、出北通線、日の出南北1号線、亀井通線「大瀬橋」) 公園(城山公園) 土地区画整理事業(岡富古川地区) 地域生活基盤施設(コミュニティサイン設置) 高質空間形成施設(本小路通線) 								
		提案事業	なし								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし								
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> 道路(須崎中川原通線) 公園(北城山街区公園) 土地区画整理事業(多々良地区) 高質空間形成施設(山下通線、山下東通線) 			<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地へのアクセス道路として早急に整備が必要であるため 城山公園の駐車場整備に併せた一体的な整備を進めるため 岡富古川土地区画整理事業と一体的な施工が必要であるため 山下新天街のアーケード改修に伴った周辺道路整備を進めるため 			影響なし		
提案事業		<ul style="list-style-type: none"> 地域創造支援事業(亀井橋リニューアル整備・岡富古川土地区画整理事業) まちづくり活動推進事業(岡富コミュニティセンター事業、まちなか子育て交流広場事業) 事業活用調査(事業効果分析調査) 			<ul style="list-style-type: none"> 橋梁の高欄改修及び歩道改良と家屋移転補償が必要であるため コレクタ延岡内自治体ゾーンの建物賃借及びキッズホーム委託に費用を要するため まちづくりの目標達成度の検証を目的とした調査が必要であるため 			指標6(来場者数)の追加			
交付期間の変更	当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
	変更	なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	指標1	来園者数	人	26,000	H15	52,000	H20	38,256	△	あり	平成22年3月
	指標2	新規住宅着工件数	件	0	H15	20	H20	0	×	なし	平成22年3月
	指標3	区画整理区域内狭隘道路率	%	50	H15	45	H20	26	○	あり	—
	指標4	歩道のバリアフリー化率	%	66	H15	85	H20	89	○	あり	—
	指標5	来街者数	人	3,015	H15	4,000	H20	2,907	×	あり	平成22年3月
	指標6	来場者数	人	0	H18	36,000	H20	36,064	○	あり	平成22年3月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	その他の数値指標1	城山公園北側駐車場利用台数	年・台	0	H15		4,800			平成22年3月	
	その他の数値指標2	浸水区域解消面積及び新規宅地面積	m ²	0	H15		4,386			—	
	その他の数値指標2	イベント開催数	年・回	5	H15		11			—	
4) 定性的な効果発現状況	山下新天街のアーケード改修及び周辺道路の高質化に伴う商店街のリニューアルに併せ、その地区内に新たに商用施設(コレクタ延岡)がオープンしたことで、地域と一体となったイベント等が開催されるようになり、地元住民のまちづくりに対する関心度が向上した。また、中心市街地内でのイベント開催なども増え、人が中心市街地を訪れる機会も増加している。また、河川の整備や土地区画整理事業の伸展により、災害時の安全性も向上し、今後の人口定着に向けた基盤づくりが着々と進展している。										
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた								
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた									
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

中心市街地地区(宮崎県延岡市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「安全で快適な、潤いと賑わいの満ちた都市像の実現」 目標1: 大瀬川南北の交流を促進し、中心市街地の活性化を図る。 目標2: 市街地近郊に快適で住みよい居住環境を整備し、人口の定着を図る。 目標3: 歩行空間、くつろぎ空間の形成を図り、来街者・居住者にとって快適に過ごせる環境を創出する。		来園者数	単位:人	26,000	H15	52,000	H20	38,256	H20
		新規住宅着工件数	単位:件	0	H15	20	H20	0	H20
		区画整理区域内狭隘道路率	単位:%	50	H15	45	H20	26	H20
		歩道のバリアフリー化率	単位:%	66	H15	85	H20	89	H20
		来街者数	単位:人	3,015	H15	4,000	H20	2,907	H20
		来場者数	単位:人	0	H18	36,000	H20	36,064	H20
		城山公園北側駐車場利用台数	単位:年・台	0	H15			4,800	H20
		浸水区域解消面積及び新規宅地面積	単位:m ²	0	H15			4,386	H20
		イベント開催数	単位:年・回	5	H15			11	H20



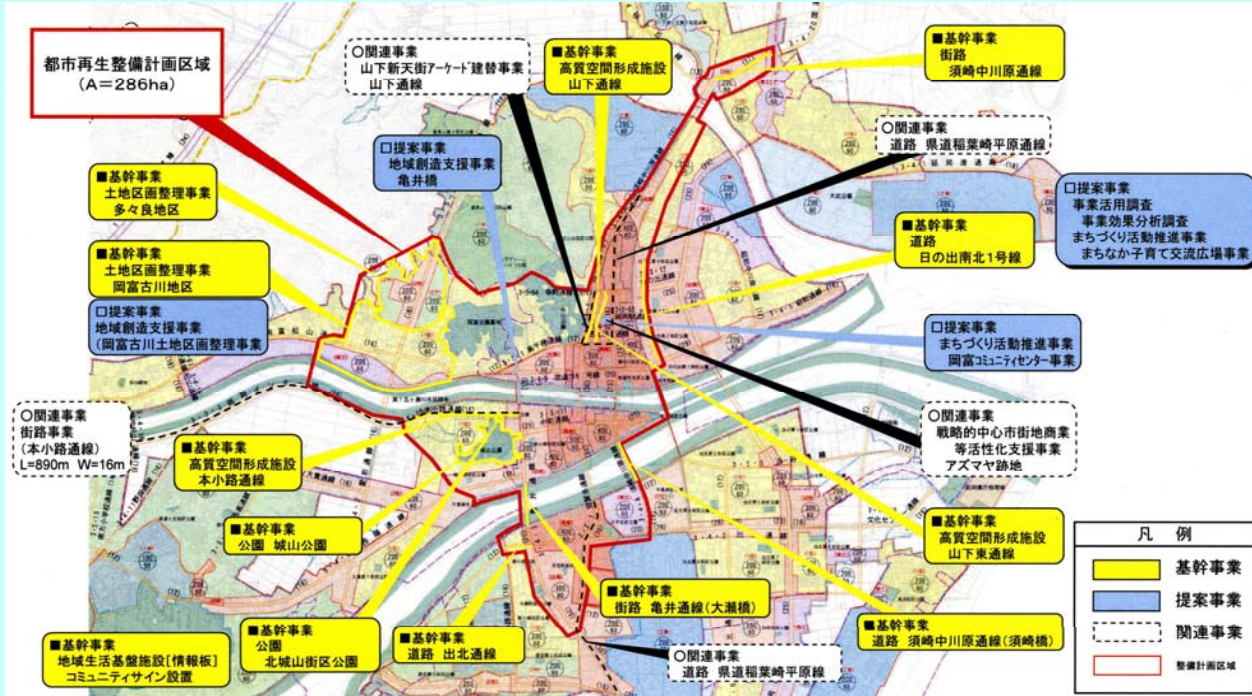
高質空間形成施設 本小路通線(基幹)



地域生活基盤施設 コミュニティサイン設置(基幹)



まちなか子育て交流広場事業(提案)



高質空間形成施設 山下通線(基幹)



道路 日の出南北1号線(基幹)



岡富コミュニティセンター事業(提案)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 歩道のバリアフリー化や電線類の地中化などの道路事業が進み、誰もが安心・快適に暮らせる基盤としての環境が形成された。 コミュニティセンターや子育て交流広場が整備され、地域コミュニティの向上や子育て環境の向上が図られた。 各事業の相乗効果をより確かなものとするため、人口定着や戦略的な中心市街地の活性化方策等を推進する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心・快適に暮らせる環境の充実による人口定着の促進 道路事業や区画整理事業の進展により災害に強いまちづくりの一定の効果が発現された。今後は、既存施設や住宅を災害に強い構造とすることでユニバーサルデザイン化することで、まち全体の安心・快適な環境形成を図り、人口定着を促進させる。 戦略的な中心市街地の活性化方策の推進 整備した基盤や地域コミュニティの向上を活かし、中心市街地の活性化を継続するための横断的な組織づくりを進め、継続的なまちづくり活動の促進を図る。